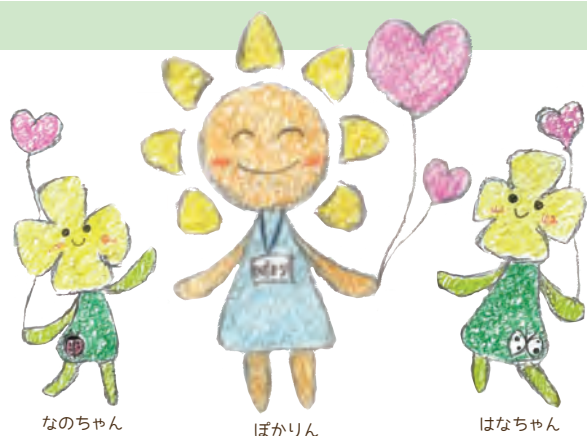


ひだまり ニュース

2025年
春号



なのちゃん

ばかりん

はなちゃん

令和 6 年度 中核地域生活支援センター連絡調整会議



令和 7 年 2 月 14 日（金）、館山コミュニティーセンター第一集会室において、令和 6 年度中核地域生活支援センター（以下中核センター）連絡調整会議（以下、会議という）を開催しました。

会議は、安房健康福祉センター 中核センター連絡調整会議要綱に基づき開催され、安房健康福祉センター副センター長をはじめ、高齢、障害、児童分野等各関係機関の方々 35 名に参加していただきました。会議において令和 6 年度の中核センターひだまりの事業報告と令和 6 年 9 月 9 日（月）に開催された「千葉県中核地域生活支援センター大会 in 2024」について報告しました。中核センター事業は、開始から 20 周年という節目の年を迎え「原点を語る・未来を描く」をテーマに発足当時の関係者に鼎談、令和 6 年度の活動報告、パネルディスカッションを通して中核センター事業のあるべき役割を再認識する場となり、同時に今後の方向性を模索する上で貴重な機会となったことを報告いたしました。

また、中核センター事業については、①包括的相談支援事業、②高齢者関係、③児童関係、④障害者関係、⑤障害者グループホーム等支援事業、⑥その他関係に分けて各担当者から報告しました。また、後半では各市町からも重層的支援体制整備事業や障害者基幹相談支援センター設置への取組状況についての報告や意見交換が行われました。

生きづらさを抱えた方々のご相談に、世代や属性を問わずワンストップで対応し寄り添い支援を実践していくとともに、各市町の重層的支援体制整備事業を側面から支援し、相談窓口の分かりにくい 8050 問題やヤングケアラー、ひきこもり、身寄りなし問題等に対し、多機関協働で対応できる支援体制の整備・構築に繋がるよう働きかけてまいります。



社会福祉法人
太陽会

千葉県中核地域生活支援センター
ひだまり

ひだまりは、千葉県からの委託で社会福祉法人太陽会が運営しています。

2025.4.25 発行（不定期発行）

この広報紙に関するお問い合わせは…

☎ 0470-28-5667 まで

南房総ひきこもり支援協議会 研修会

令和7年3月17日（月）館山市コミュニティセンター第一集会室にて、南房総ひきこもり支援協議会研修会が開催されました。講師としてNHKドラマの監修や、多くの書籍を出版されている、ジャーナリストの池上正樹氏を迎え、（ひきこもりの理解支援～新たな「支援ハンドブック」にみる支援者の心構え～）と題して厚労省が作成した「支援ハンドブック」にある事例も交え、支援者としての心構えからひきこもりの理解と具体的な支援までを学ぶことができました。



ひきこもりの支援をしていると、本人と会えなかったり、ただ、時間が過ぎていくだけのこともあり、実際支援に意味があるのかと支援者がくじけてしまいそうになることがあります。今回の研修ではそんな関わりのひとつひとつも大切な意味があるということや、その後の本人の変化に繋がった事例を聞く事ができ、支援者としても大変勇気づけられる内容でした。また質疑応答では諸外国のひきこもりに対する考え方等の質問もあり、大変興味深い研修となりました。

ちこネット就労支援部会研修会

令和7年1月31日（金）千葉市文化センターにて、千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク（通称 ちこネット）就労支援部会研修会が開催され、町村部を代表してひだまりからコーディネーターの増田が演者として登壇しました。（就労支援の「悩みの共有と支援のヒント」～地域ならではのモヤモヤを共有し、支援のアイデアを出し合おう！～）を中心テーマとして、日頃の支援から感じる地域特性や支援者が抱えるモヤモヤについて発表しました。



都市部（市川市）、中間部（袖ヶ浦市）の支援者による発表もあり、同じ千葉県内でも圏域によって地域住民同士の関りや社会資源に違いがあることが確認できました。終盤は参加者が各グループに分かれてグループワークを行い、日頃の「モヤモヤ」を共有、日頃接する機会の少ない他圏域の支援者同士の貴重な情報共有の場となりました。

ひだまり職員紹介

この度、ひだまりに新たにコーディネーターが入職し、新体制となりました。日々変化する福祉の現場において、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し今後も関係各機関の皆さまと共に温かい支援を届けられるよう努めてまいります。本年度もよろしくお願いいたします。

繁田 昌幸（しげた まさゆき）

令和7年4月1日からひだまりのコーディネーターとして勤務をする事になりました。これまで、介護福祉士として有料老人ホーム、デイサービスにて高齢者との関わりを大切にお仕事をしてきました。ひだまりでは安房地域の皆さんの声に耳を傾けて、24時間365日、皆様のご相談を承って参りたいと考えております。

子どもや障害者、高齢者といった枠を取り払い、皆様が安心して居心地が良いと感じて頂ける場所を目指し、一人ひとりのご相談を様々な知識を基に福祉サービスのコーディネーターとしてご対応させて頂ければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



後列2番目

地域自立支援協議会第 3 回子ども部会

2025 年 1 月 23 日（木）三芳農村環境改善センターにて、地域自立支援協議会第 3 回子ども部会が開催されました。

部会からの令和 6 年度事業報告と令和 7 年度事業計画（案）の報告後、安房圏域の「子どもの居場所」について以下の登壇者によるリレートークが行われました。



- ・ 第三の居場所／一般社団法人にじいろはうす 代表理事 加藤 恵子氏
- ・ 不登校支援／NPO 法人たからばこ みんなの森 施設長 稲葉 優氏
- ・ 子ども食堂／社会福祉法人館山市社会福祉協議会 主事 吉野 利奈氏
- ・ 高校居場所カフェ／ひだまり

参加者からは「安房圏域にある子どもの居場所、社会資源について理解を深めることができた」と好評の声を多数頂きました。

令和 6 年度南房総市ひきこもり支援プラットフォーム研修

この研修会の主催である南房総市ひきこもり支援プラットフォーム実務者会議は、ひきこもりの支援に関わる行政機関及び民間支援団体などが、相互かつ適時に情報共有を図るとともに、連携して支援に取り組んで体制を構築することにより、地域におけるひきこもりの早期発見、地域からの孤立防止、引きこもり当事者及びその家族に対する支援を行うことを目的に発足された会であり、準備段階からひだまりも関わらせて頂いています。

その中で、今回 2025 年 1 月 30 日（木）三芳農村環境改善センターにて、令和 6 年度南房総市ひきこもり支援プラットフォーム研修会が開催されました。

研修会では NPO 法人 KHJ 千葉県なの花会理事長の藤江幹子氏による「ひきこもり支援の現状と課題 当事者と家族が求める寄り添い方 ～安心してひきこまれる環境を！～」をテーマとした講演が行われました。この「安心してひきこまれる環境」というテーマの意味は深く、焦らず本人のことを理解していく必要があるというように、ひきこもり支援の根本を考えさせられる内容でした。また、段階的支援の方法や本人だけでなく家族との関わり方、本人が支援者に何を望むのか等、新しい視点での考え方を学ぶことができ大変有意義な研修会でした。



安房圏域障害者グループホーム等支援事業移管について

安房圏域障害者グループホーム等支援事業は、これまで中核地域生活支援センターひだまりにおいて対応してまいりましたが、2025 年 4 月 1 日（火）より下記の事業所へ移管する運びとなりました。

今後とも引き続きよろしくお願いいたします。



事業所：障害者支援施設しあわせの里
住所：〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1243-2
電話：04-7098-1110

あつまり

ひだまりでは、誰かと繋がることの大切さや安心を感じてもらうために、性別・年齢・障害を問わず、参加する皆さまが楽しいひとときを過ごして頂ける様、居心地の良い場を目指して2021年より『あつまり』と称し居場所づくりを開催しています。

場所は毎回、館山コミュニティーセンター（中央公民館）1階で隔月開催をしております。

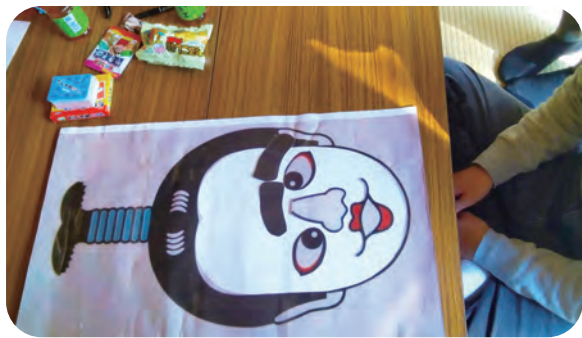


ひだまりが定期的に地域の皆さんと「居場所」づくりの一環として開催している「あつまり」についての報告です。令和6年11月29日（金）、令和7年1月31日（金）、3月21日（金）の3回開催しました。

11月29日（金）は、工作として「クリスマスツリー」を7名で作りました。松ぼっくり等を活用して参加者の個性溢れるものが出来上がり、皆で楽しみました。

1月31日（金）は、4名で「福笑い」を楽しみ、参加者とスタッフが完成の作品を見て大いに盛り上がりました。3月21日（金）は、工作として「ウォーターボトル」づくりにチャレンジし、色とりどりの完成品に満足そうな表情を伺うことができました。この日は、暖かい日よりだったので散歩にも出かけ、長い冬の寒さからようやく開放された爽快感に満たされ参加者・スタッフ共にリフレッシュできました。

あつまりでは、なんとなくスタートし、参加者個々の紹介などもなく、工作やカードゲーム、折り紙などテーブルごとに参加者とスタッフが遊びを交えた交流の場としてのゆるやかな雰囲気の中で、終始なごやかな「居場所」としての位置付けが定着してきました。今後も参加者の方が気軽に立ち寄ることができる「居場所」となるようスタッフ一同取り組んでまいります。



今後も楽しい時間が
過ごせるように
企画してまいります。



ひだまり掲示板

ひだまりからのお知らせ

ひだまりでは、子どもや障がい者、高齢者といった枠を取り払い、一人ひとりの状況にあわせて、公的機関、民間事業者、福祉グループなどが行なう様々な福祉サービスのコーディネートや、福祉の総合相談、権利擁護活動等をおこなっています。

ご相談は24時間・365日体制で受け付けています。ご相談方法は、電話やメール、ご自宅へ訪問、ひだまりへの来所など。個人情報はお守りしていますが、気になる方は匿名でのご相談もできます。

お気軽にご相談ください。



広報紙「ひだまりニュース 2024年春号」2025.4.25 発行

【編集・発行】千葉県中核地域生活支援センターひだまり 〒294-0014 千葉県館山市山本 1155

TEL.0470-28-5667 FAX.0470-28-5668 E-mail: hidamari@s-taiyou-kai.jp



ひだまりのホームページ